



既に述べたように、プログラムは道具であり、フォールダは収納場所であり、ファイルは素材です。ファイルとフォールダの操作をしっかり覚えることが、パソコンに慣れる一番の早道です。

ファイルの拡張子

ファイルには、文書ファイルがあったり、画像ファイルがあったり、音声ファイ ルがあったり、色々な種類があります。ファイルは名前をつけて区別しますが、 [name].[type] という風にドットをつけて、前の部分と後ろの部分にわかれます。 前の方はそれこそどんな風につけても構いませんが、半角の英数字でつける ことを強くおすすめします。

さてドットの後ろの部分です。これは拡張子と呼ばれ、そのファイルがどんな ものかを表します。文書ファイルには doc のような拡張子があり、画像ファイル には jpg のような拡張子があります。そんなに沢山の拡張子を覚える必要はあ りませんが、「ファイル名には拡張子が付く」ということは、これからファイルの操 作を覚 えていく上でとても大切なことです。



ところが、Windows の初期設定では、この拡張子は表示されません。そのために、色々な混乱が起こることがあります。ですからまず最初に、拡張子が表示されるように Windows の設定を変えましょう。

【例題】ファイルの拡張子が表示されるように、パソコンを設定して下さい。

- 【XP】「マイコンピュータ」を立ち上げます。すると上の方に「ツール」という項目が見え、これをクリックすると「フォールダオプション」という項目が出てきますから、これをまたクリックすると、「フォールダオプション」という小さな画面が立ち上がります。その画面で「表示」というタブをクリックすると、右のような画面になります。(以下、このような立ち上げの順序を「マイコンピュータ」⇒「ツール」⇒「フォールダオプション」⇒「表示」のように簡易表示します。)
- 【Vista】「コンピュータ」⇒「整理」⇒「フォールダと検索のオプション」⇒「フォールダオプション」⇒「表示」とたどると XP と同じ画面に到達します。



右のスクロールバーを操作して(あるいはスクロールバーの下に見える小さな下向き三角をクリックし続けて)項目を下のほうに移していくと、「登録されている拡張子は表示しない」という項目が見つかるでしょう。通常はこの項目にチェックマークが付いています。このマークを外して OK ボタンをクリックして下さい。これで拡張子が表示されるようになります。